

いなづま

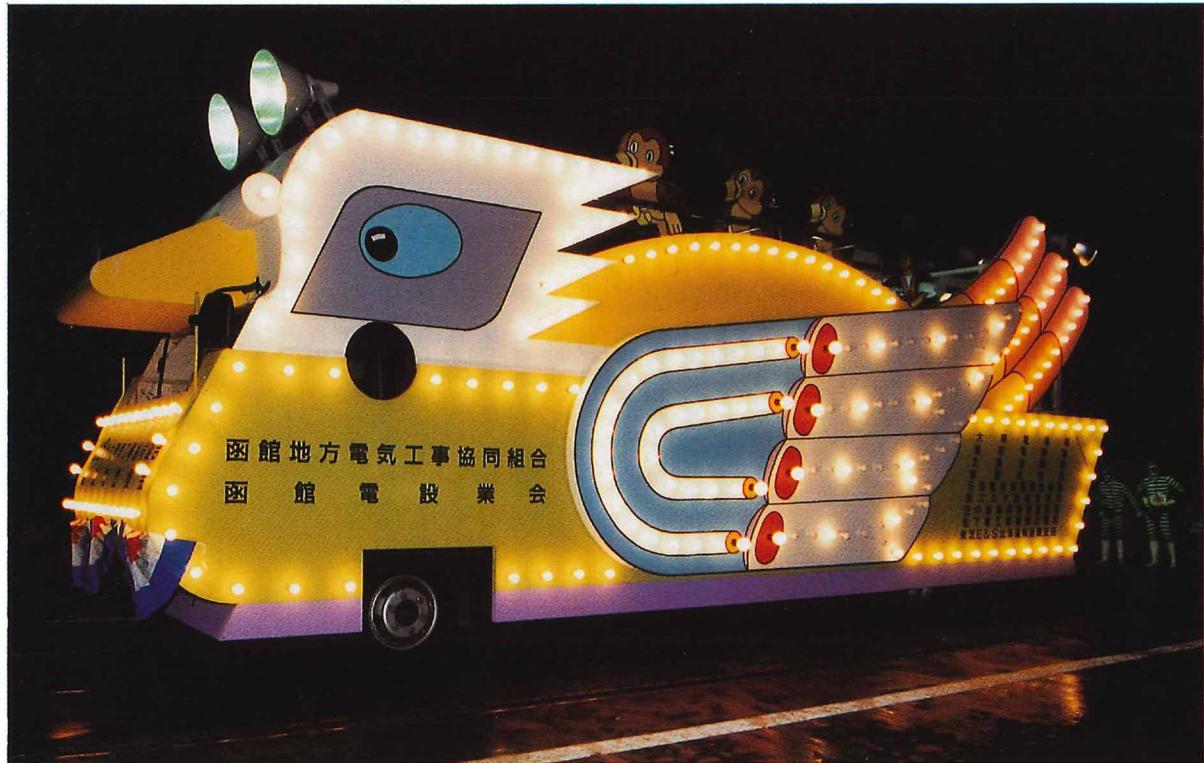
題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 有限会社 嶋山印刷



「臨時供給工事の運用改訂」 モデル実施について

理事長 吉田 要

昨年十二月よりモデル実施となつて現在進行中の『臨時供給工事の運用改訂』につきましては、組合員の皆様のご理解とご協力により順調に推移していることにつきまして御礼を申し上げます。

モデル実施までの周知期間が短期間であったため組合員の皆様には種々ご迷惑をおかけした事と推察いたします。組合としましても技術的な面につきましては北電函館支店配電グループと組合員代表との間で五回に亘る小委員会を開催し技術面特に市街地における土木工事関連の臨時工事施工方法について協議を重ねました。

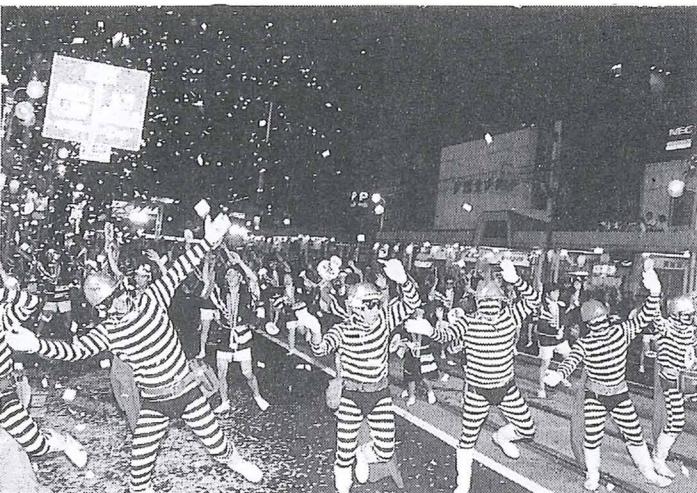
更に九月四日には北電本店配電技術グループとの協議、そして十一月には二度に亘つて全道単協と所管支店配電関係者が来函し視察会と協議会を開催し意見の交換とモデル実施中の我々に対する質疑が行われました。

会議中に参加者側より今回のモデル実施について、引込線の施工と鋼管ポールの普及等に対し賛辞が寄せられました。私共としましても組合員の皆様の御協力に対し感謝を申し上げます。

しかし乍ら来年の全道展開につきましては、営業業務面で特に引込線工事費の前納と云う面では私達が昨年の周知期間中の説明会での組合員各位からの種々の意見が出た様に、全道展開前の需要家に対する充分なPRの徹底が望まれる処であります。

組合といたしましても短期間の祭礼等の取扱い等特例措置について協議を重ね、より弾力的な運用をお願いして参る所存であります。

全道にさきがけてのモデル実施に関し、組合員の皆様のご協力に対し感謝申し上げ中間報告といたします。



- (7) 一二〇Aタイムスイッチの採用について
 六、事業委員会事項
 第三者損害賠償制度の事項報告について
 (2) (1) 全日電工連住友団体共済制度配当金の還付について
 (3) 国民年金基金の加入促進について

組合行事

		(平成8年)	
		9月3日	10月5日
全 日	道電気工事業厚生年金基金代議員会に吉田理事長出席（於北海道電気会館）	11月9日	会計中間監査 無墜落昇降柱法実技講習会（於北電資材管理所跡）受講者三六）
6 日	東支部会議	11月12日	臨時供給工事取扱い変更に伴う説明会（於組合会議室）一四一名出席）
11日	佐藤副理事長出席（於網走市）	11月13日	年末特別融資説明会
12日	北支部会議	11月14日	臨時供給工事取扱い変更に伴う説明会（於北電八雲営業所三二名出席）
13日	全日電工連全国大会に正副理事長四名、青年部二名出席（於京都市）	11月15日	臨時供給工事取扱い変更に伴う説明会（於北電江差営業所二〇名、北電福島営業所二一〇名出席）
14日	無墜落昇降柱法実技講習会（於北電資材管理所跡）受講者六四名）	11月16日	八雲支部八雲ブロック北工連絡会
15日	中渡島支部会議	11月17日	中渡島支部会議
16日	赤川支部ゴルフ大会（於函館KGカントリークラブ）	11月18日	福島支部会議
17日	八雲支部八雲ブロック三水会	11月19日	道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席（於北海道電気会館）
18日	中渡島支部会議	11月20日	年次特別融資委員会
19日	第六回役員会	11月21日	第二回北工連絡会
20日	正副理事長会議	11月22日	第七回役員会
21日	東支部会議	11月23日	臨時供給工事視察に吉田理事長、佐藤副理事長、酒井副理事長参加（於仙台市）
22日	中央会全道組合女子職員研修会に寺村職員出席（於啄木亭）	11月24日	八雲支部北松山ブロック三水会北工連絡会
23日	臨時工事打合会議に吉田理事長、酒井副理事長、越田職員出席（於北電会議室）	11月25日	正副理事長会議
24日	苦小牧協組三〇周年記念式典に吉田理事長出席（於苦小牧市）	11月26日	東支部会議
25日	建設産業構造改善フォーラムに上戸理事出席（於松山支厅）	11月27日	第八回役員会
26日	福島支部会議	11月28日	臨時供給工事打合会議に七名出席（於北電
27日	臨時供給工事打合会議に七名出席（於北電		

28日	御用仕舞	(平成9年) 1月6日 御用始
21日	中渡島支部研修旅行（於青森県）	道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席（於北海道電気会館）
22日	東支部会議兼新年会（於竹葉八雲支部北松山ブロック三水会	東支部会議兼新年会（於竹葉八雲支部北松山ブロック三水会
23日	道工業組合期末会計監査に佐藤副理事長出席（於北海道電気会館）	道工業組合期末会計監査に佐藤副理事長出席（於北海道電気会館）
24日	平成8年度永年勤続者表彰式・平成9年度新年会（於ホテル函館ロイヤル）	平成8年度永年勤続者表彰式・平成9年度新年会（於ホテル函館ロイヤル）
25日	福島支部新年会（於北電会議室）	道工業組合総代会に吉田理事長ほか理事八名、青年部二名出席（於北海道厚生年金会館）
26日	室Ⅱ五二名受講	福島支部新年度会議
27日	渡島支庁による電気工事業法立入検査	中央支部会議兼観桜会（於観光ホテル八雲支部森ブロック会議兼観桜会
28日	第三回北工連絡会	第三回北工連絡会
29日	渡島支庁による電気工事業法立入検査	第一〇回役員会
30日	高圧用計器取扱登録会社研修会（於組合会議室Ⅳ四〇名受講）	第二回役員会
31日	臨時供給工事打合会議に六名出席（於北電会議室）	第三回北工連絡会
1月1日	高圧用計器取扱登録会社研修会（於組合会議室Ⅳ四〇名受講）	第三回北工連絡会
1月2日	渡島支庁による電気工事業法立入検査	第三回北工連絡会
1月3日	高圧ケーブル端末処理講習会（於組合会議室Ⅳ四五名受講）	第三回北工連絡会
1月4日	道工業組合全道事務局長会議に佐藤事務局次長出席（於北海道電気会館）	第三回北工連絡会
1月5日	主任電気工事士研修会（於拓銀ビルⅣ一五五名受講）	第三回北工連絡会
1月6日	北見協組佐野理事長受章祝賀会に吉田理事長出席（於北見市）	第三回北工連絡会
1月7日	内線工事研修会（於組合会議室Ⅳ七七名受講）	第三回北工連絡会
1月8日	福島支部北工連絡会	第三回北工連絡会
1月9日	内線工事研修会（於組合会議室Ⅳ七七名受講）	第三回北工連絡会
1月10日	正副理事長会議	第三回北工連絡会
1月11日	第九回役員会	第三回北工連絡会
1月12日	第九回役員会	第三回北工連絡会
1月13日	福島支部無墜落昇降柱法実技講習会	第三回北工連絡会
1月14日	東支部会議	第三回北工連絡会
1月15日	福島支部無墜落昇降柱法実技講習会	第三回北工連絡会
1月16日	引込線工事士認定委員会に吉田理事長、酒井副理事長出席（於組合会議室）	第三回北工連絡会
1月17日	赤川支部会議	第三回北工連絡会
1月18日	八雲支部北松山ブロック三水会	第三回北工連絡会
1月19日	引込線工事士認定委員会に吉田理事長、酒井副理事長出席（於組合会議室）	第三回北工連絡会
1月20日	北支部会議	第三回北工連絡会
1月21日	引込線工事士認定講習・試験（於組合会議室）	第三回北工連絡会
1月22日	会計期末監査	第三回北工連絡会
1月23日	福島支部会議	第三回北工連絡会
1月24日	八雲支部会議兼観桜会（於観光ホテル八雲支部森ブロック会議兼観桜会	第三回北工連絡会
1月25日	第二種電気工事士試験（学科）準備講習会（於観光ホテル八雲支部森ブロック会議兼観桜会）	第三回北工連絡会
1月26日	中央会道南支部団体事務長会議に佐藤事務局長出席（於北電会議室）	第三回北工連絡会
1月27日	第二種電気工事士試験（学科）準備講習会（於観光ホテル八雲支部森ブロック会議兼観桜会）	第三回北工連絡会
1月28日	中央会道南支部団体事務長会議に佐藤事務局長出席（於北電会議室）	第三回北工連絡会
1月29日	道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席（於北海道電気会館）	第三回北工連絡会
1月30日	電波障害防止協議会総会に吉田理事長出席（於ホテル函館ロイヤル）	第三回北工連絡会
2月1日	定期健康診断の実施（於組合会議室Ⅳ三一六名受診）	第三回北工連絡会
2月2日	引込線工事士本部認定委員会に吉田理事長出席（於北海道電気会館）	第三回北工連絡会
2月3日	第二種電気工事士試験（学科）準備講習会（於組合会議室Ⅳ五六名受講）	第三回北工連絡会
2月4日	道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席（於北海道電気会館）	第三回北工連絡会
2月5日	港まつり実行委員会（於組合会議室）	第三回北工連絡会
2月6日	赤川支部会議兼観桜会（於フタバヤ）	第三回北工連絡会
2月7日	電気設備共通仕様書・標準図講習会（於函館市民会館Ⅳ一一七名受講）	第三回北工連絡会
2月8日	港まつり実行委員会（於組合会議室）	第三回北工連絡会
2月9日	江差支部会議	第三回北工連絡会
2月10日	中央会道南支部団体事務長会議に佐藤事務局長出席（於ハーバービューホテル）	第三回北工連絡会
2月11日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月12日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月13日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月14日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月15日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月16日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月17日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月18日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月19日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月20日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会
2月21日	港まつり三万人パレード説明会に佐藤事務正副理事長会議	第三回北工連絡会

7月2日	八雲支部八雲ブロック会議
7日	社会保険事務説明会に佐藤事務局長出席 (於函館市民会館)
8日	臨時供給工事モデル実施協議会(於組合会議室)Ⅱ役員一名、委員一七名)
10日	建設業災害防止協議会函館支部理事会・総会に佐々木三男理事出席(於建設会館)
15日	全日電工連グループ共済説明会に佐藤事務局長出席(於北海道電気会館)
16日	道工業組合会計中間監査に佐藤副理事長出席(於北海道電気会館)
18日	北支部会議
21日	中渡島支部会議
22日	道工業組合役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(於北海道電気会館)
23日	全日技術委員会 第二種電気工事士試験(実技)準備講習会(於組合会議室)Ⅱ四四名受講)
28日	函館港まつり三万人踊りパレードに参加 (一五〇名)
4日	臨時供給工事打合会議(於組合会議室)Ⅱ組合会議室、実技・北電資材管理所跡五五名受講)
9月1日	青年部レクリエーション打合会議

7日	合七名、北電六名)
9日	第五回大レクリエーション大会(於陸上自衛隊函館駐屯地)三八六名参加)
10日	道工業組合臨時供給工事打合会議に吉田理事長、佐藤副理事長出席(於北海道電気会館)
17日	検満工事業者打合会議(於組合会議室)Ⅱ組合員一六名、北電三名)
19日	青年部ボーリング大会
25日	福島支部北工連絡会兼懇親会
26日	道工業組合全道移動役員会に吉田理事長、佐藤副理事長出席(於帯広市)
27日	中央会道南支部研修会に佐藤事務局長出席(於拓銀ビル)
10月2日	北海道電気工事業厚生年金基金代議員会に吉田理事長出席(於北海道電気会館)
13日	第五回役員会
15日	函館地方法人会四〇周年記念式典に佐藤事務局長出席(於国際ホテル)
17日	会計中間監査
21日	全日電工連全国大会に正副理事長四名、青年部二名出席(於金沢市)
26日	函館地方法人会年末調整説明会に佐藤事務局長出席(於拓銀ビル)
27日	無墜落昇降柱法実技講習会(於北電資材管理所跡)八五名受講)
28日	高所作業車運転技能講習(於学科)組合会議室、実技・北電資材管理所跡五五名受講)

組合員の消息



一、一月三日	(有)井上電気代表取締役井上幸一郎
二月二三日	(有)松田電設代表取締役松田正志殿
六月十三日	ご母堂松田トミ子殿ご逝去
六月二七日	山本電気商会代表山本努殿ご母堂
八月九日	山本ユキ殿ご逝去
八月十七日	協信電気工業(株)函館支店長工藤定一殿ご母堂工藤コハマ殿ご逝去
	池田電気工事(株)代表取締役池田唯吉殿ご逝去
	明殿ご母堂細川トミ殿ご逝去

一、相沼電気工業所代表印鑑六郎殿、病氣入院
一、邦代電気商会代表手塚邦男殿、病氣入院

一、林電工代表林勝義殿、怪我入院
一、(有)松浪電気商会代表取締役松浪富雄殿、病氣入院

一、金子電気商会代表金子勝悟殿、病氣入院
一、石高電気代表石高孝見殿、病氣入院

新加入組合員の紹介

平成九年度新加入の方を
ご紹介いたします。

(加入年月日) 平成九年四月一日



成田防災設備(株)

成田敏正

(有)昭和電気、大成電業(株)、株樺谷商会を経て、昭和
二十九年三月九日生
函館市富岡町三一三二一一九
電話 四五ー九一ー五



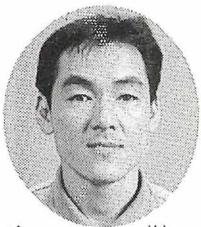
飯田電気商会

飯田石尾

昭和二十二年十月五日生
函館市東川町二十二一四

電話 二二一四四五九

澤谷電気商会、(株)吉浦電機商会、(株)トラス電工舎
を経て、平成七年四月独立開業



(有)渡部電気工業

渡部浩

昭和三十四年七月四日生
山越郡八雲町東町二九三
電話〇一三七六一四一二二五九

山内工業(株)を経て、平成三年四月独立開業、平成六
年四月法人化

阿部電気
阿部修

昭和三十四年三月八日生
松前郡松前町月島七十
電話〇一三九四一二一四三八五

森電設を経て、平成三年十一月独立開業

一、(有)旭東電気工業所(赤川支部)
代表取締役 井上陽一 代表取締役 井上幸二郎
一、(有)平井電気(中央支部)
代表取締役 工藤藤三郎 代表取締役 平井行衛
一、(有)井上電気(福島支部)
代表取締役 井上陽一 代表取締役 井上幸二郎
一、(有)小木電工社(八雲支部)
代表取締役 佐藤輝男 代表取締役 松田春夫
一、(株)電気企画工業(北支部)
代表取締役 松山辰一 代表取締役 松吉昭悦
一、(株)ディエス大栄電工(赤川支部) 大栄電工
(有)兼松電設工業(江差支部)
代表取締役 松山辰一 代表取締役 松吉昭悦

一、(有)美光電気サービス(東支部)
代表取締役 井上陽一 代表取締役 井上幸二郎
一、(株)小木電工社(八雲支部) 美光電気工業
一、(株)電気企画工業(北支部) 小木電工社
一、(株)ディエス大栄電工(赤川支部) 大栄電工
(有)兼松電設工業(江差支部)
代表取締役 松山辰一 代表取締役 松吉昭悦

組合員の異動

II商号・組織・代表者・住所の変更II

(新)
(旧)



一、(株)三木電気(中渡島支部)
函館市中道
二一四一一一四
一、(株)亀田電気(大川支部)
亀田郡七飯町大川
三一〇一一二八
一、(株)茅部郡森町森川町
茅部郡森町森川町
二九六一二〇
一、(有)平井電気(中渡島支部)
上磯郡上磯町大工川
函館市梁川町一八一一〇
一一三一一二三
三一一六

このあと懇親会に入り、余興は教育大女子学生のモダンダンスと有志のカラオケ等で賑やかなひとときを過ごし、午後八時三十分北海道電気資材卸業協同函館支部長の加藤眞氏（大興電機社長）により、関係者一同の益々の繁榮と健勝を祈念しての乾杯で終宴となつた。

このあと懇親会に入り、余興は教育大女子学生のモダンダンスと有志のカラオケ等で賑やかなひとときを過ごし、午後八時三十分北海道電気資材卸業協同函館支部長の加藤眞氏（大興電機社長）により、関係者一同の益々の繁榮と健勝を祈念しての乾杯で終宴となつた。

佐藤事務局長の司会により物故者に対する黙禱のあと吉田理事長が挨拶にたち、本日の受彰者に対する感謝とねぎらいの言葉を述べたあとキビシかつた昨年を振りかえり今年の抱負と組合員に対する協力を求めた。

次に表彰式に移り、理事長より三十二名の受彰者に表彰状と記念品を手渡し出席者一同盛大な拍手で祝福した。続く来賓祝辞では佐藤、鉢呂、金田代議士のか木戸浦函館市長、佐野北電支店長が相次いで登壇し心あたたまるお祝いの言葉を頂き、勤続三十一年表彰をうけた竹内正三氏（タマツ電機工業）が受彰者を代表して「今後とも職務に精励して参りたい」と謝辞を述べた。

平成八年度永年勤続者表彰式ならびに平成九年新年会が好天の一月二十四日ホテル函館ロイヤルにおいて佐藤孝行、鉢呂吉男、金田誠、各衆議院議員、木戸浦函館市長ほか三十七名の來賓を迎えた受彰者、組合員、事務局職員など約一七八名が出席して盛大に開催された。

永年勤続者表彰式

平成八年度永年勤続者表彰名簿（敬称略）

勤 続	30年以上1名		
	事 業 所 名	氏 名	
勤 続	30年以上1名		
勤 続	25年以上2名		
勤 続	20年以上5名		
勤 続	15年以上15名		
(株)東栄電気工業 同	藤立電気工事所	(有)旭東電氣工業 同	函館拓北電業
共栄電気工業 業	右	右	（有）西岡電気 （株）旭東電氣工業 函館支店
小笠原利 立山強	羽秋館杉金佐 和留彦	東小吉池工 林和治	西岡電気 奥田正興 田陽治
笠原正 浩彦	山山田崎 司周	田正力 治雄也	藤勝
明	照造		

勤 続	30年以上1名										事 業 所 名
	青函電気	同	函館拓北電業	同	同	同	同	同	同	同	
勤 続	30年以上1名										
勤 続	25年以上2名										
勤 続	20年以上5名										
勤 続	15年以上15名										
事務	（株）東栄電気工業 同	（有）日興電気	（株）富岡電気	（株）同							
右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	
局	工設	事	（株）	（株）	（株）	（株）	（株）	（株）	（株）	（株）	
中野村	内田	馬立	近江谷	伊藤	竹原	石岡	辻栗	小笠原	中村	本川宿直	同
郁	治孝	昌清	洋澄	英	幸	英	秀利	英	村	宮崎	同
雄	孝一	昭二	子力	悟	利	男	行	英	田	佐藤	同



線工事士の認定講習会が開催されました。
受講のみで認定する者 三七名 (受験者数四五名)
試験合格で認定する者 七名
本年度認定者の内訳は次のとおりです。
申請のみで認定する者 十八名
受講のみで認定する者 三七名 (受験者数四五名)

引込線工事士 認定講習



平成9年度通常総代会が五月二十八日(木)組合大會議室において、総代定数八十二名中八十一名（うち委任状提出者十三名）が出席して開催された。

理事長あいさつのあと正副議長の選出では、指名推せんで工藤定一氏（協信電気工業㈱）矢本里美氏（有里見電気工事）が選出され議事の審議に入った。

第一号議案

平成8年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剩余金処分案について承認を求める件

第二号議案

駐車場用地の取得について

第三号議案

平成9年度事業計画案ならびに収支予算案について承認を求める件

第二号議案の駐車場用地取得について第三号議案の予算案の関連もあり、二、三の質問があつたが何れの二月二十一日(金)に組合大會議室において実施され、新たに六十二名の引込線工事士が誕生し、当組合の引込線工事士の認定者数は一二八七名になりました。

本年度認定者の内訳は次のとおりです。

申請のみで認定する者 二二名

受講のみで認定する者 三七名 (受験者数四五名)



第49回 通常総代会開催

平成九年度**主任電気工事士研修会**

平成九年度主任電気工事士研修会が三月二十五日(火)拓銀ビル八階大ホールを会場として開催百五十五名が受講した。

吉田理事長の開講あいさつの後、順じ四名の講師により午後一時から午後四時三十分に亘り、会場で配布されたテキストを中心に説明された。

なお、受講者には後日受講証を発行してあるので、立入検査の際に提示されたい。

開催日 平成九年三月二十五日(火)

開催場所 拓銀ビル八階大ホール

主 催 北海道電気工事業工業組合

函館地方電気工事協同組合

指導保安係 自家用係長 堀 弘明氏

拓銀ビル八階大ホール

北海道通商産業局公益事業部施設課

(附)北海道電気保安協会函館総括支部

配電課副長 中瀬秀久氏

自家用係長 堀 弘明氏

北海道電力㈱函館支店営業部

支部長代理 鈴木一也氏

**高圧ケーブル端末処理
技術講習会実施**

昨年度に引き続き、高圧ケーブル端末処理技術講習会が、去る三月二十七日当組合大会議室において実施されました。

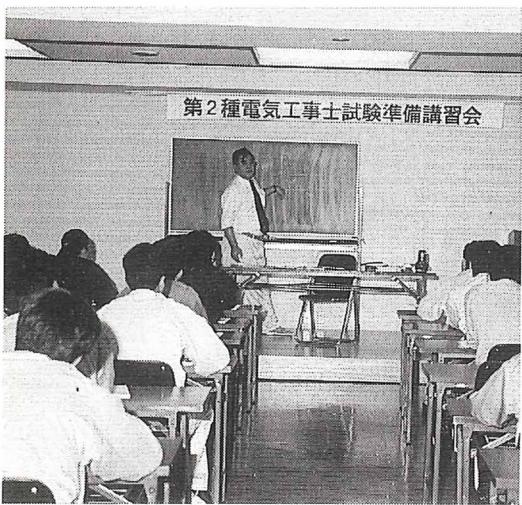
高圧ケーブルの端末処理については、本来公的資格は制定されておりませんが、最近公共工事においては事故防止のため熟練した技術者による工事施工が要求されております。

当講習会では講習終了後実技・筆記試験を行い基準以上の者にはスリーエム工法修了者として認定書が交付されることもあり、当初四十名の定員に対し、五十四名の申込みがあり全員大変熱心に受講されました。

**二種電気工事士
國家試験・
受験準備講習会**

九年度の二種電気工事士国家試験は学科は六月八日実技は七月二十七日に実施された。
当組合ではこれに先立ち、恒例の受験準備講習会を左記の通り行った。

◎学科講習 六月三日～六月五日



◎実技講習 七月二三日～二五日

午後	二三日(水)	二四日(木)	二五日(金)
午前	受講者は学科六十五名、実技四十四名で国家試験の結果組合で判明した合格者は、学科二十二名(三六・七%)、実技は三十八名(八六・三%)で特に実技試験においては全国平均(六十三・二%)に比べて極めて高い合格率であった。	講師の皆様には繁忙期のなかをこ尽力下さり誌上をかりて厚く御礼申し上げます。	講師各位 西岡大成氏(㈲西岡電気) 酒井好一氏(三立電気㈱) 大鎌哲雄氏(大鎌電気㈱) 内藤俊男氏(函栄電気エンジニアリング) 五十嵐照夫氏(㈲五稜郭カスガ) 池田昌義氏(日栄電気㈱)
午後	単位作業(内藤・対馬・五十嵐・池田)		

電気設備工事共通仕様書・標準図

(平成九年度) 講習会

工事共通仕様書は、建築、電気設備及び機械設備工事に使用される材料、機材、工法、試験、検査等の仕様の標準化を行い、官公庁施設の建築物の質的水準の維持、向上及び設計図書作成の省力化を図ることを目的として建設省で制定され、四年毎に見直しが行われております。

このたび、平成九年度版が発行され、その適用にあたり、内容について十分理解し、適正に運用していくため講習会が開催されました。当日は、市町村及び工事関係者百十七名が出席し、熱心に聽講しました。

当組合と建設労働災害防止協会北海道支部との共催による高所作業車運転技能講習を十一月十一日と十二日の二日間に亘り実施致しました。

高所作業車は、作業床の高さが10m以上の機械については、都道府県労働基準局長の指定する機関が行う技能講習を修了した者でなければ運転できないことになつております。



高所作業車運転技能講習実施

開催日	平成九年六月十一日(木)
開催場所	函館市民会館大会議室
主催	(社)公共建築協会
後援	建設省、北海道開発局、北海道、函館市
講師	北海道開発局営繩部
設備課	電気第一係長 武田泰幸氏
工務検査課	官籍監督官 紙谷貢氏
保全係長	荒井正保氏



“永い間ご苦労様でした”

坂本前事務局長退職

永年に亘り当組合の事務局長としてご尽力をされてきた坂本豊一氏が三月三十日をもって退職いたしました。昭和四十八年入所以來我組合の激動の時代を組合員と苦楽を共にしてこられました。

この間、経理面での絶大なる信用度と適格な事務処理、各種組合行事会合などに於ける運営処理等々歴代役員を始め組合員の信頼も厚く、更に全道単協事務局長会や中小企業団体中央会函館支部事務長会に於いても信望を抱つて世話役として活躍をしておりました。昨年九月下旬脳梗塞で入院後現在では自宅療養となりハビリに専念されております。

永年に亘るご尽力に感謝申し上げると共に、一日も早いご快復を祈念してご紹介をいたします。



“山車を新らたにハッピも新らしく”

函館港まつり 三万人パレード

今年の『函館港まつり』は期間中好天に恵まれ各種行事とも順調かつ盛大に行われた。組合も例年通り三万人パレード（十字街コース）に参加する事となり六月下旬より準備に入った。

まず参加十年を経て揃いのハッピが色あせて来た事と山車も更新する事として早速デザインを専門業者に依頼した。パレードの踊りも協議の結果從来通り沿道の観衆に馴染み深い『電線マン音頭』と決定し、デザインのほぼ決まった山車の上部に三羽のすずめの型板を前後に振るメカニズムとした。

いよいよ八月二日パレード当日は午後六時頃より例年の集合場所である銀座通りに、新調した色鮮やかなハッピを着用した参加者が集まってきた。

組合員とその家族達、資材問屋メーカーの社員、青年部の諸君等々例年どおり慣れたもので夕食の握り飯を頬張り、ビール、ワンカップ等で徐々に祭り気分が高揚する。

総勢百五十名新装成った山車を先頭に八列縱隊が青年部扮する『電線マン』十数人に続く。隊列の背後からは例年通り二台の高所作業車よりの煌々たる水銀灯の照明。沿道の観客も我が組合の電線マン踊りは好評で拍手もわきあがる、特に本年は電飾華やかな新調の山車の上で前後に見えかくれる三羽の雀が沿道の注目を惹いた。

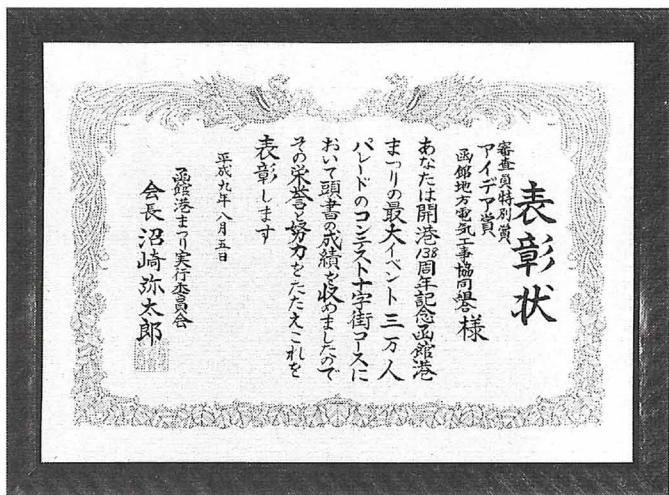


広小路の審査員席には市長の姿は見えなかつたが盛んな拍手と声援の中祇園通り角で解散となつた。

あと恒例の直会を行い軽食とビールで気勢をあげて本年のパレード参加は盛会裡に無事終了した。

山車や高所作業車の取付撤去、ハッピの取り揃えと配布、飲食物の調達等々、青年部の諸君始めご協力をいただいた組合員の皆様、又協賛いただいた問屋メー

カー各社に対し厚く御礼を申し上げます。
尚、港まつり最終日の八月五日、当組合パレードに
対し港まつり実行委員会より「審査員特別賞－アイデ
ア賞」を受賞しました。
関係者の努力の結果と重ねて御礼を申し上げます。



第五回

大レクリエーション開催さる

今年第五回目となる恒例の大レクリエーションは例年の開催場所であった大沼グリンピアに代えて、本年は陸上自衛隊函館駐屯地内グランドと決定した。

隊内でもあり例年の様な大仕掛けな火を使う料理は極力控える方針で準備を進めた。開催日も過去は七月の第一日曜日であったが、これも八月上旬の港まつりパレード参加の準備とかち合うため九月七日(日)と決定した。

当日はほぼ予想された様に小雨となつたので隊内の体育館を借用しての開催となつた。体育館入口横にテントを張り恒例の『豚汁』用の大釜や鉄板焼きの炉を用意し青年部諸君のご尽力で準備が整つた。

小雨模様にもかかわらず大勢の参加者が続々と詰めかけ組合関係者の方々ほか北電関係四十名その他電材問屋各社を含め約三百八十六名の参加総数となつた。

定例の午前十時、矢本青年部長の開会宣言に次いで大会長の吉田理事長挨拶、来賓の北電函館支店片桐営業部長、阿部市議会議員、北海道電気資材卸業協同組合加藤函館支部長ら三氏から祝辞を頂戴した。

続いて各種競技の説明のあと全員がラジオ体操で身体をほぐし愈々競技に入った。

最初は子供も交え参加者全員によるジャンケン大会から始まり、例の如く子供達の玉入れ、綱引きの予選、女性の綱引き、引き継ぎ庄巻である『女の戦い』椅子取りゲームとなり爆笑が続いた。

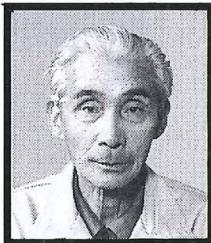
昼近くなつて青年部諸君の苦心の数々の料理?や豚汁が次々と出され愈々会場は盛り上ってきた。午後はメインのビンゴゲームに引続き全員参加のク

イズが始まりそれぞれ大小の景品が当たつた。

最後は支部対抗(北電2チームを含む)の綱引き競技の決勝リーグとなつて、結果は強烈な接戦の末北電Aチームが優勝し昨年に引き続き二連覇となつた。

閉会式では実行委員会佐藤副理事長より、企画実行に苦労した青年部諸君に対するねぎらいと、北電函館支店ならばに電材店各社に対して協賛のお礼を述べ無事終了した。

追悼記

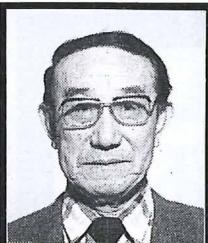


(有)井上電気代表取締役井上幸二郎氏は、去る一月三日八十六年の生涯を終えられました。井上氏は昭和三十一年秋田県立秋田工業学校電気科を卒業と同時に川崎市日本鋼管(株)電気課に入社し、その後北日本電

戦後木古内町の三井木材(株)に入社し、その後北日本電上電気商会を開設し、当組合に加入されました。以来今日に至る迄、優秀な技術と良心的な仕事で社業を発展させ、業界ならびに地域の発展に寄与されました。

故人の生前の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りして追悼の記といたします。

合掌



池田電気工事(株)代表取締役池田唯吉氏は、去る八月九日八十年の生涯を終えられました。

池田氏は昭和七年函館の石井電気店に勤務、その後日魯漁業(株)函館支社電気課に入社しましたが戦争のため兵役に服し、戦後横井電気工業所、旭電気工業所を経て昭和三十年上磯電気工事(株)に組織変更をし現在に至っております。その間、昭和四十七年から三期六年間組合の理事を勤め、又北電支部の支部長として組合並びに業界の発展に貢献されました。故人の生前の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りして追悼の記といたします。

合掌

“おめでとうございます”

電気保安功労者の表彰

◎通商産業大臣表彰



(営業所の部)
佐藤電気工事株式会社

佐藤征次氏

◎北海道通商産業局長賞



(営業所の部)
池田電気工事株式会社

池田耕造氏



(営業所の部)
株式会社繁田電工

繁田一義氏

去る八月七日、右の二社が札幌市の共済ビルで開催された北海道電気安全大会において表彰されました。

これは、電気安全について永年にわたり保守保安の運営ならびに教育が十分に行なわれて居り、他の模範として認められたもので、普段の努力と功績の賜とお

あり、心よりお祝いを申し上げます。

○気がつくと平成九年も師走！
まことに忙しく本当にいろいろな事件が多発した激動の一年であります。

我が組合も昨年十二月からの『臨時供給工事の運用改訂モデル実施』の適格な遂行の諸作業に追われた極めて多忙な一年であります。

○そして『いなづま』も約一年間休刊の止むなきに至りまして組合員の皆様には大変申し訳なく思っております。お詫びを申し上げます。

云い訳がましくなりますが、坂本前事務局長が昨秋病に倒れましてその後休職をして退職と編集の大黒柱を失い、やむなく一年間の休刊という極めて不名誉な事態となってしまいました。

○来年は我が組合の創立五十周年にあたり、六月には記念式典も予定されておりますがその際、恒例によりまして『いなづま五十周年記念号』を発刊する予定になつておりますが既に準備に入つております。

従つて本年は休刊分をまとめて一〇三号として今回出すこととなりました。

○新しい年からは編集部も陣容を一新して休刊のない機関誌にしたいものと考えております。

組合員の皆様のご支援を宜しくお願ひいたします。

○本年は後半になつて考えもしなかつた保険、銀行、証券の破綻など不景気な話ばかりですが、来る年はこれらの憂鬱を吹き飛ばす様な明るい平成十年になる事を祈るばかりです。

組合員の皆様には、来年が飛躍の年でありますようご多幸をお祈りいたします。

(K・Y)

編集後記

次代の変化にこたえる感性
総合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

電話 040-222-2414
函館市大繩町二十二番十四号



快適を科学します

松下电工株式会社
函館出張所

電話 041-522-1525
函館市西桔梗町五八九番地一〇五七

電気設備機器資材の総合卸商社

大興電機株式会社

本社 041-313-0411
セントラル本通商品
電越郡函館市西桔梗町五八九番地一〇五七
三山電函電函電話
三内一丁目一六九一
三三三二四〇四二二一
六一三一一〇九五〇七七

電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

電函
040

函館市松川二町一三四二一三一三

未来環境を語る・造る

株式会社工

函館営業所

電話 041-222-1101
函館市富岡町二丁目四一
札幌・営業所 鈎路、苦小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

本社 063-060
函館営業所
松下電工(株)代理店

日立電線
(株)特約店

北進商事株式会社

電話 040-555-2115
函館市市場町十九番二十一号
FAX

電設機材
エレクトロニクス

田中商事株式会社

本社 040
電函
函館市龜田町一十三番八〇八号
営業所 札幌、東札幌、鈎路